

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道41号下原改良	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局	
起終点	自：岐阜県下呂市金山町下原町 至：岐阜県下呂市金山町中切	延長	1. 1 km			
事業概要 一般国道41号下原改良は、岐阜県下呂市金山町下原町から岐阜県下呂市金山町中切に至る延長1.1 kmのバイパスであり、現道の防災課題箇所の解消や交通安全の確保を目的に計画された道路です。現道区間には、防災点検の結果、対策等が必要と判断された防災課題箇所（6箇所）や交通事故が多発している線形不良箇所などの多くの課題があります。 本事業は、課題解決のために別線整備することで、防災課題箇所を回避します。						
H3年度事業化	H一年度都市計画決定 (H一年度変更)	H13年度用地着手	H19年度工事着手			
全体事業費	37億円	事業進捗率	57%	供用済延長	0.0 km	
地域の防災面の課題 ・当該区間には、防災上の課題である箇所として、道路災害に直接結びつく可能性の高い要対策箇所が2箇所、道路災害の危険要因がある防災カルテ箇所が4箇所存在するとともに濃飛流紋岩が多く分布しており、剥離型の落石や岩盤崩壊が発生しやすく、近年の異常気象や大地震の影響で災害が発生する可能性が高く、早急に対応が必要である。 （中部防災技術専門委員会（平成25年10月18日））						
課題を踏まえた対策・事業内容 ・対策内容は、現状の課題（防災上の課題、唯一の南北方向の道路、線形不良、生活環境）を解決する対策検討の視点として、防災課題箇所や線形不良区間での事故懸念及び経済性など総合的に検討しており、現在の計画案が技術的に適切な対策案であると判断出来る。 ・事業の対策内容のコストについて、土工区間、トンネル等について、現時点での調査結果（地質調査等）及び類似事業対策から決定しており、適正コストが計上されているため妥当だと判断出来る。 （中部防災技術専門委員会（平成25年10月18日））						
事業の効果等 ① 災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等 （67億円（残事業67億円）） ② 害による被害の回避 ・物流への影響回避 ・救急医療活動への影響回避 ・走行時の安心の確保・不安の解消				費用 （残事業）/（事業全体） 16 / 45 億円 事業費： 11/40 億円 維持管理費： 5.3/5.3 億円		
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等： ・下呂市他6市町村で構成する国道41号下呂・高山間車線強化促進期成同盟会、及び下呂市・高山市で構成する国道41号美濃加茂・下呂間強靱化推進同盟会から下原改良工事の早期完成を要望。 知事の意見： ・対応方針（原案）案のとおり、事業の継続について異存ありません。						

事業評価監視委員会の意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・「事業継続」することは「妥当」である。 	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	
<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年3月に、益田郡萩原町・小坂町・下呂町・金山町・馬瀬村が市町村合併し、「下呂市」が誕生。 ・平成20年7月に、東海地方と北陸地方を結ぶ東海北陸自動車道が全線開通。 ・平成24年7月に、濃飛横断自動車道（金山IC～下呂IC間）が開通。 	
事業の進捗状況、残事業の内容等	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業進捗率は57%、用地進捗率は100%。 ・下呂市金山町下原町～下呂市金山町中切間（L=1.1km）は、平成27年度の開通を目指し、トンネル掘削を実施。 	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	
<ul style="list-style-type: none"> ・下呂市金山町下原町～下呂市金山町中切間（L=1.1km）は、平成27年度の開通予定。 	
施設の構造や工法の変更等	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後、技術の進展に伴う新工法の採用等によるコスト縮減に努めながら、事業を推進する。 	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性は変化なく、防災面の効果が見込まれるため。
事業概要図	

※1 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。

※2 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。